

2020年12月10日

 株式会社アインホールディングス  
 代表取締役社長 大谷 喜一  
 (東証1部コード9627)

## アイングループの重要課題(マテリアリティ)特定についてのお知らせ

当社は、ESG(環境・社会・ガバナンス)や国連サミット採択のSDGs(持続可能な開発目標)等、世界的にサステナビリティの重要性が高まる中、社会の持続可能な発展に貢献することで、企業の持続可能な発展を実現するサステナビリティ経営を推進しております。このたび、サステナビリティ委員会(委員長:代表取締役社長 大谷 喜一)にて、アイングループが取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定いたしましたので、お知らせいたします。

### ■当社グループの6つのマテリアリティ

ISO26000 や国連グローバルコンパクト、国連SDGs等のグローバルな議論の動向を踏まえ、また、日本や業界特有の社会的課題を把握したうえで、「挑戦すべき機会」と「対応すべきリスク」の2つの観点から課題群を整理し、「ステークホルダーへの影響度」及び「自社における重要度」による判定から、下記の通りマテリアリティを特定いたしました。

マテリアリティ	中期アクション	課題カテゴリ ( )内は ESG 分類	SDGsとの 関連
<b>1.地域医療への貢献</b> 「地域全体で治し、支える」 医療に貢献する薬局となる	・高齢化及び医療の高度化により薬物治療が複雑化する中、地域住民の平等かつ持続的な、健康で豊かな生活の実現に貢献する	CSV 課題 (S)	  
<b>2.美しさと健やかさの提供</b> 現代社会において、毎日を楽しむための美しさと健やかさを提供する	・常に、新鮮なコスメ&ビューティアイテムと楽しく選べる場を提供し、自分らしく飾らないライフスタイルの実現に貢献する		     
<b>3.安全・安心と信頼</b> 日々の業務を通じて、安全・安心と信頼を届ける	・個人情報保護を含めた安全と安心を最優先に、商品・サービスを提供し、患者さま・お客さまとの信頼関係をさらに強化する	事業プロセス課題 (S)	 
<b>4.環境保護・負荷低減</b> 環境保護及び負荷低減へ貢献する	・事業活動にかかわる地球環境の持続可能性を追求し、環境保護に努めるとともに、環境負荷の最小化に取り組む	事業プロセス課題 (E)	   

<p><b>5.健全な経営基盤</b> 健全な経営基盤を強化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誠実、公正な企業文化の継承と、共有価値による結束を強化する</li> <li>・社員一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう、職場環境の整備を推進する</li> <li>・社員一人ひとりの能動力発揮により、生産性を向上する</li> <li>・会社情報の管理体制の整備強化と確実な運用を遂行する</li> <li>・企業活動を行う上での基本原則であるコンプライアンスを徹底し、公正な事業運営を遂行する</li> <li>・グループ全体のコーポレートガバナンスを強化し、透明性が高く健全な経営を行う</li> </ul>	<p>経営基盤課題 (G)</p>	
<p><b>6.地域社会・取引先との連携</b> 地域コミュニティ及びサプライチェーンとともに、健康な社会づくりとサステナビリティ活動を推進する</p>	<p>地域とのコミュニケーションとサプライチェーンとの協働により、さらなる価値向上を推進する</p>	<p>地域社会・お取引先との連携課題 (S・E)</p>	

当社グループは、人々の健康や美に貢献する事業を通じ、お客さまの元気と笑顔を実現し続けるため、良識と倫理観を持った企業活動を行ってまいりました。これからも、お客さまをはじめ多様なステークホルダーの皆さまのことを考え、自ら変化し行動することで、企業の持続的な成長と、社会・環境・経済価値を創出し、サステナビリティ経営を実現いたします。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インホールディングス 経営企画室 鈴木 奈々絵

東京都渋谷区代々木 2 丁目 1-5 JR 南新宿ビル 11F

TEL:03-5333-1812 FAX:03-5333-0020 E-mail:n-suzuki@ainj.co.jp